# 江藤農林水産大臣 冒頭メッセージのポイント

〔令和７年１月20日 第２回緊急全国会議〕

○　緊急事態。昨日は７例発生、過去に経験がない。
１月だけで今シーズンはすでに23事例、418万羽という**異常な事態。**
連続発生している３県については、国費全額負担での緊急消毒。
**加えて、昨日は愛知県と千葉県に現地対策本部の設置の決定。**

○　現場では皆様方に御努力をいただいていることは重々承知しているが、
これ以上の拡がりを許すわけにはいかない。**より一層の御努力が問われている。**

○　**第１番の大切なことは、早期の通報**。
「そんなはずはない、これだけしっかりやっているのだから、自分の農場にそんなものが入るはずがない」という気持ちは分かるが、ちょっとでも怪しいと思ったらすぐに通報。**通報が遅れたところにおいて、面的な拡がり、近隣に対する集中的な広がりを招いている場面がある。**
**通報が遅れれば、手当金の減額というペナルティーがあるということをしっかり現場の方々にはお知らせいただきたい。空振りの通報が増えている。空振りの通報はむしろ褒められるべきこと。**もしかしたらと思ったら通報する、しっかり皆様方に徹底をしていただきたい。

○　**第２番は、消毒の徹底、ウイルスの侵入防止**。
先日、**愛知県で、拡がりを防ぐため、専門家を交えた現地対策会議**を開催。これまでの対策に加え、乾燥した空気の中で、消毒の効果を発揮するために、消石灰だけでなく、**液状の消毒液を活用する。乾燥している中でほこりの侵入を防ぐには、不織布のシートも有効ではないか。**こういった知見も得られており、連続して発生している県には国として活用を支援する。その他の県でもこうした取組についても、検討いただきたい。

○　**第３番は、点検、点検、再点検**。もう何度やってもやりすぎということはない。地域の中で１軒が油断すると、もう連続的にやられてしまう。

○　**食卓への影響を大きく懸念**。鶏卵は、家庭用の他、パンや菓子などの加工用、外食などにも多く使われている。**農林水産省としても、まずはこの影響を緩和するために卵業メーカーには、鶏卵の地域の流通、凍結液卵等の活用を、未発生地域の生産者には飼養期間の延長を依頼したい。生産者、事業者の協力を得て、小売・加工・外食への影響の緩和について、努力**をしていきたい。

○　本日の会議を踏まえ、**現場に出向いておられる、家保の職員の皆様まで、更に意識を徹底**していただいて、しっかり働きかけをお願いする。**今日集まっていただいている方々には、しっかり意識を持っていただいて、更に頑張っていただければ、まだまだ防ぐ道は沢山あると思っている。**このままでは、前回を超えてしまうおそれまである、という意識を持っていただきたい。**養鶏の業界を守っていくことはもとより、日本の食卓を守っていかねばならない。**皆様の御協力をよろしくお願いいたします。